

【七月の言葉（平成二十七年）】

悲しみこそが、**本当の生きる力になる。**

人間はいつも、真理に逆ら<sup>さ</sup>って生きています。ありのままをありのままに見ることができません。

たとえば、この世は無常ですが、私たちは、歳は取りたくない・死にたくない・いつまでも若く元気でいたいと思っ<sup>て</sup>ています。無常ということを正しく見ることができません。いつも自我<sup>じが</sup>中心に生き、煩惱<sup>ぼんのう</sup>に振り回されて生きています。

それ故に苦しむのです。

「悲しみこそが、本当の生きる力になる」

東日本大震災の津波で、夫と義父母を亡くされた菅原文子さんの言葉です。

「うれしいことや楽しいことだけが、生きる励<sup>はげ</sup>みになるのではなく、悲しいことこそが、本当の生きる力になると感じています」と話されています。菅原さんは、悲しみを受けとめ、悲しみを支えとして力強く生きておられます。